

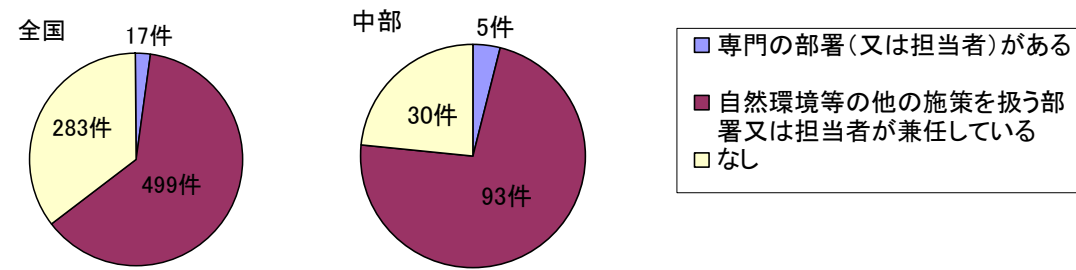
1. 概要

地域連携保全活動基本方針の検討に当たって、その基礎資料とするため、地域における生物多様性保全活動の実態について、地方公共団体に対するアンケート等により把握した。また、アンケート等によって収集した地域における生物多様性保全活動のうち、地方公共団体が積極的に関わるとともに、同基本方針の検討に当たって特に参考となるようなものについて整理した。

2. 生物多様性保全にあたっての地方公共団体の体制・施策

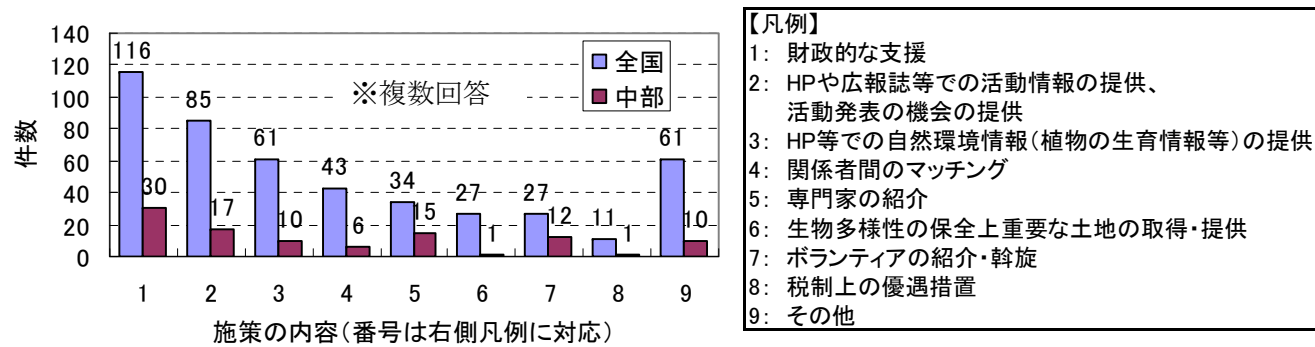
全国の地方公共団体(47都道府県、1750市区町村)にアンケート調査を実施した結果、1089通の回答を得た。現在までに集計した808件(うち中部地方129件)について、その結果概要を示す。

1) 生物多様性を扱う部署・担当者 ※有効回答数799件(うち中部地方128件)



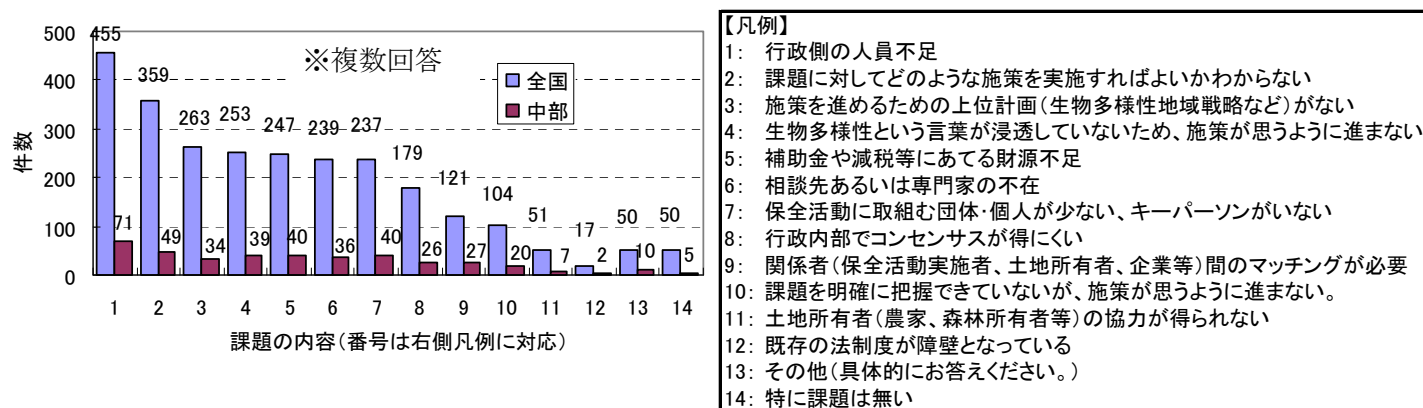
2) 地域における生物多様性保全活動を支援する施策

※施策が「有」と回答した地方公共団体161件(うち中部地方30件)



3) 生物多様性保全の施策を促進するにあたって感じている課題

※有効回答数755件(うち中部地方124件)



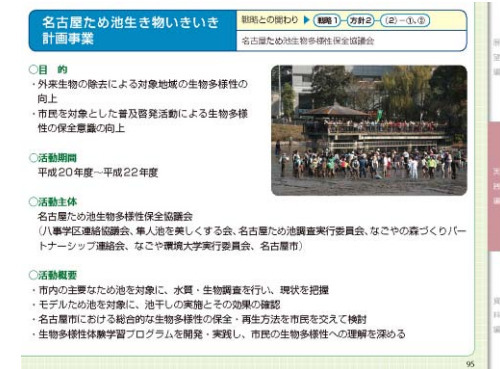
3. 地域における生物多様性保全活動の事例

1) 名古屋ため池生き物いきいき計画事業(愛知県名古屋市)

・・・生物多様性地域戦略との調和、都市における生物多様性の保全

■取組内容

ため池の生物多様性の保全・再生を目的として、市内の主要なため池において、専門家やなごやため池市民調査員による動植物の調査を実施するとともに、池干しによるブラックバスなどの外来種の防除などを実施し、ため池の生態系の回復を図っており、「生物多様性2050なごや戦略」の具体的施策の一つとしても位置づけられている。



生物多様性2050なごや戦略(抜粋)

(平成22年3月、名古屋市)

2) 一社一村しずおか運動(静岡県)

・・・マッチング(農村と企業、農村と都市の交流)

■取組内容

農村の要望である「人手がほしい」「交流を増やしたい」「安定した顧客がほしい」「一緒に特産品を開発したい」と、企業の要望である「社会貢献をしたい」「社員の福利厚生に活用したい」「地域の資源をビジネス化したい」のニーズを結びつけ、農村と企業との協働による、都市と農村の交流、農村地域の自然環境保全や農業振興への寄与等を支援している。



一社一村しずおか運動の活動イメージ

(出典：静岡県HP)

3) 春蘭の里グリーンツーリズム(石川県能登町)

・・・地域資源を活用した地域おこし、里山の保全

■取組内容

豊かな自然を最大限に活かしたグリーンツーリズムを推進し、都市部の小学校の体験旅行の受け入れや、農家ごとの農村生活体験プランを提供している。また、里山を適切に管理することでキノコ山として保全し、それらのキノコや山菜、伝統文化など里山の地域資源を活用した地域おこし、そして里山環境の保全に結び付けている。



黒瓦と白壁が美しい農村住宅と水田